

シャーロック・ホームズ 語られざる事件簿

アルハンブラ劇場の不可能犯罪

——他のあらゆる可能性がすべてだめとなったら、
いかに有りそうも無いことでも、残ったものが真実なのだ
シャーロック・ホームズ

01.はじめに

このシナリオは『新クトゥルフ神話 TRPG ルールブック (7 版)』の 1920 年代探索者、または『クトゥルフ神話 TRPG (6 版)』『クトゥルフ・バイ・ガスライト』を用いた 1890 年代探索者で遊ぶことができます。6 版で遊ぶ場合は、技能や対抗ロール、ボーナスダイスの扱いをコンバートしてください。

PC1~4 人向けにデザインされたショートシナリオであり、想定プレイ時間はオフラインセッションやボイスセッションで 1~2 時間程度、テキストセッションで 4~5 時間程度です。ヴィクトリア朝イギリスのリアル知識は無くても大丈夫。TRPG 初心者でも楽しめるよう意図しています。

●技能判定の表記について

本シナリオにおいて、技能判定は下記のように表記します。

→ 〈応急手当〉〈医学〉

彼は怪我をしているようだ。

これは、「〈応急手当〉または〈医学〉の判定に成功した場合、彼が怪我をしていると推測できる」

という意味です。KP はこれ以外の技能成功でも情報を開示して構いません。

02. 今回予告

コンサートや演劇、バレエやオペラ、ときには空中ブランコまで。"アルハンブラ劇場"はありとあらゆるショーを披露し、19 世紀のロンドン市民を楽しませていた。

そんなアルハンブラ劇場の舞台上で、ある日、不可解極まる変死事件が発生する。名探偵シャーロック・ホームズすらも悩ませるその事件を解決するために、探索者達は協力することになるが……

はたして、人知を越えた現象に、人の身で抗うことはできるのか。

03. 探索者の作成について

このシナリオのテーマは"ホームズ&ワトソンと共に神話的事件を体験しよう"です。探索が中心ですが、戦闘もあります。探索者の社会階級は問いません。継続探索者であっても参加しやすいシナリオでしょう。

● 〈信用〉について

この時代は、現代よりもはるかに〈信用〉が重んじられた時代です。探索者が公的な場で野蛮な振る舞いをした場合、KPは〈信用〉の技能値を減少させることができますでしょう。

04. NPC の紹介

シャーロック・ホームズ (36 歳)

ベーカー街 221B に住む名探偵です。細かいかぎ鼻に、鋭いまなざしを持つ顔はタカのように、身の丈 6 フィート (約 180 センチ) の痩せた身体をしています。豊富な科学知識を持ち、鋭い観察眼と推理力によって数々の難事件を解決する一方で、バイオリンをやたらとかき鳴らし、化学実験の匂いをまき散らし、薬物を摂取するという悪癖もあります。

※ホームズの詳細な数値が必要な場合は、『クトゥルフ・バイ・ガスライト』を参照してください

ジョン・H・ワトソン (38 歳)

ホームズの相棒である開業医です。優しく、気立ての良い性格で、常識と教養を持ち合わせています。アフガニスタンに軍医として従軍したことがあり、その負傷のせいで少し足を引きずっています。また、拳銃の名手でもあり、幾度となくホームズの危機を救っています。

STR:65 CON:65 SIZ:75 INT:70 POW:60

DEX:55 APP:65 EDU:85 SAN:82 H P:14

技能：応急手当 96%、水泳 88%、薬学 85%、医学

78%、心理学 68%、乗馬 67%、聞き耳 65%、運転

(馬車) 58%、投擲 56%、博物学 55%、法律 49%、

信用 49%、値切り 44%、説得 43%、生物学 41%、

回避 40%、図書館 40%、歴史 40%、化学 38%、

追跡 32%、目星 31%、精神分析 29%、言いくるめ

21%

言語：英語 85%、フランス語 75%、ドイツ語 40%、

ギリシャ語 60%、ラテン語 80%

武器：近接攻撃 (格闘) 55% 1D3+1D4

射撃 (拳銃) 89% 1D10+2

ウォルター・ロス (31 歳)

邪悪な舞台役者です。ニュージーランドで生まれた彼はイギリスに渡り、その才覚と容貌によって、役者として成功しました。しかし、残虐な性格と癩癩持ちが災いし、とうとう主演を降ろされてしまいます。そんな彼は結社『見えうるもの』でクトゥルフと交信したことによって正気を失い、アーティファクトの力でライバルの俳優を亡き者にしました。調査に乗り出したホームズを非常に警戒しています。

STR:55 CON:60 SIZ:70 INT:65 POW:40

DEX:55 APP:70 EDU:40 SAN:0 H P:13

技能：変装 75%、芸術 (演技) 70%、言いくるめ 50%、クトゥルフ神話 20%、信用 40%

武器：近接戦闘 (格闘) 40% 1D3+1D4 ダメージ

ヒュー・ブーン (41 歳)

恐ろしい顔をした乞食です。金融街の中心であるシティ・オブ・ロンドンに縄張りを持つ彼は、当意即妙の掛け合いによって人気を博して大金を稼いでいます。その正体は『唇のねじれた男』をお読みください。ホームズによって真相を曝かれたはずですが、稼ぎが良すぎたためか、本シナリオ中では再び乞食に戻っています。

05. シナリオの背景

才能はあれど邪悪な心を持つ舞台役者、ウォルター・ロスが主役を降ろされたことが、この事件の始まりでした。新進気鋭の若手、エドワード・ロネンに深い恨みを抱いたロスは、結社「見えうるもの」に接触し、麻薬による夢現の状態から大いなるクトゥルフと交信してしまったのです。

正気を失い魔道に目覚めた彼は、ポナペ諸島からアーティファクト「クトゥルフの瞳」を取り寄せました。この水晶が放つ光を直視してしまうと、肺に海水が溜まり溺死するという、恐るべき品です。

ロスにはクトゥルフの瞳を用いて、何も知らずにそれを運んだ海運会社の関係者を人知れず皆殺しにしました。さらに、アルハンブラ劇場で芝居のリハーサル中だったロネンを惨殺します。

劇場で起きた不可解極まる変死事件の調査に乗り出したのは、シャーロック・ホームズでした。調査の末、ホームズはこの事件には怪異が絡んでいると見抜き、探索者への協力を要請します。一方、ホームズの追求を恐れたロスは、名探偵の協力者を害することを画策するのです。

06. 想定するセッションの流れ

- (1) ホームズから依頼を受ける
- (2) ロンドンを探索し、魔術に関する情報を集める
- (3) ホームズに報告する
- (4) ウォルター・ロスの襲撃を撃退する

07. 導入

探索者のもとに、ホームズの協力要請が来るところからシナリオは始まります。

探索者は、かつて名探偵の事件解決に力を貸したか、怪事件の経験者として一目置かれているか、数奇な半生から来る洞察を期待されているのかもしれない。あるいは探索者は、ホームズの指揮する浮浪少年の集まり「ベーカー街遊撃隊」の一員なのかもしれません。

時間に余裕があれば、それぞれの探索者の日常――主従で優雅にお茶を楽しんでいる、職場で働いている、食うや食わずで道端に座り込んでいる――などを描写するといいいでしょう。職業技能などの判定をするのも、ダイスロールの練習になります。

それぞれの日々を過ごす探索者の元へ、「貴方の協力が必要だ。アルハンブラ劇場に来て欲しい」といった旨が記された、ホームズからの丁寧な手紙や電報が届きます。もしくは探索者の上司や浮浪少年が伝言します。ホームズと親密な関係を築いているならば、「都合ヨケレバスグコイ ワルクテモコイ S・H」という電報が届くでしょう。

その後、探索者をロンドンのレスタースクエアにあるアルハンブラ劇場に向かわせて、そこで合流させてください。短時間でセッションを終わらせる必要があるならば、いきなり劇場のシーンから始めても構いません。

08. アルハンブラ劇場にて

アルハンブラ劇場。東洋風に装飾されたこの劇場は、ヴィクトリア女王が一家で観劇に訪れたこともあるほど人気を博していたが、今は別の理由で注目されていた。

夕方になる頃、貴方は、劇場前広場の人混みをかき分け、巡査に事情を話し、劇場に入る。玄関ロビーで貴方を出迎えたのは、シャーロック・ホームズとワトソン医師だった。

「ようこそ〇〇〇。また君の助けを必要とする刻が来たようだ」

「〇〇〇、あなたの～な力をぜひお貸し頂きたい」

「〇〇〇、きみを寄越すということは、レストレードもまだこの事件を投げ出したわけじゃ無さそうだな」

「〇〇〇、～な君の働きを期待しているよ」

(特に高 APP の) 女性探索者がいる場合、貴方たちを見て、ワトソンがホームズと何やらこそこそと言ひ合います。

→ 〈聞き耳〉

「ホームズ！レディを呼び出すなんて、どういふつもりなんだ！」

「それにあの〇〇〇、あんなにも美しい人、僕は見たことがないよ！」

「……とりあえず落ち着きたまえワトソン」

「今の僕たちが気にするべきは、鑑賞用の女性美などではなく、事件解決に必要な彼女達の知性と理性と職能だろう」

ホームズは咳払いしてミュージックホールの扉を開け、探索者を案内します。無人の客席から舞台を見下ろす事ができます。

「さて、ワトソン。君が皆に事件のあらましを改めて伝えてくれないか」

「ああ。そう言われると思って、整理しておいたんだ」

ワトソンは手帳を開くと、探索者たちに向けて話し始めます。

「事件が起きたのは、3 日前の午後 2 時すぎ。芝居のリハーサルの途中だった。演目は『当世ファウスト』。ゲーテ作品の風刺パロディだ」

「メフィストフェレスを演じる主役のエドワード・ロネンが独唱する場面で、悲劇は起きた。演出家と数名の関係者が見守る前で、彼は突然苦し

みだし、倒れてしまったんだ」

「そのひどい苦しみようは、死の演技をさんざん見てきた者であっても、心胆を寒からしめるものだったらしい。そして、介抱の甲斐も無く、新進気鋭の役者はこの世を去ってしまった」

ここでワトソンの説明に一区切りつかせて、ホームズが探索者たちに向き直ります。

「そう、その死の真相をたぐり寄せるために、君たちの助けが必要なのだ」

「解剖の結果、エドワード・ロネンは、信じがたい理由で死んだことが判明してしまったのだよ。この僕をして、途方に暮れさせる理由でね」

いやまったくあんなことが……とホームズはしかめつらでブツブツ言い出します。できれば、探索者から「いったい何があったのか」などと質問させてください。ホームズは次のように答えます。

「すまない。これを認めるには僕自身、多少の勇気が必要でね」

「彼は、海水で溺れ死んだのだ」

▼何かトリックを使ったのでは？

「舞台を見ていた人間全員の話聞いたが、ロネンが倒れるまで、とくにおかしなことはなかったそうだ」

「あらゆる場所を調査したが、仕掛けの痕跡は一切見つからなかった」

「ちなみに、ロネンの解剖にはぼくも立ち会ったが、健康体そのものだったよ」とワトソン

「冗談であってくればよかったのだが…残念ながら、稀代の名優が舞台上、ひとりであったところに突然、海の水を肺に詰まらせて死んだのだ」

「あらゆる可能性を検討した結果、この事件は、

君たちの専門領域だと判断した。つまり、怪異とか怪奇とか怪現象のたぐいだ」

※クトゥルフ神話 TRPG におけるホームズはクトゥルフ神話技能を持っているため、怪事件に遭遇した経験があるようです。もし、「そんな非科学的なことは信じない！」という探索者がいれば、それはそれで批評家としての視点から捜査に協力して欲しいと言うでしょう。

「ぼく自身、いくつかの経験から怪異があり得なくはないということは知っている」

「そして、僕は僕なりに、犯人とおぼしき人物の目星もつけている。……人の為した事だと仮定した上での話だが」

「恐るべき呪術を使う相手を野放しにはできない。しかし、かといって無策で対峙するわけにもいかない」

「君たちに頼みたいことは、この"現象"についての詳細な調査だ。できれば、対抗策も見つけてくれるとありがたいが」

▼犯人とおぼしき人物について

「ぼくが目星を付けているのは、ウォルター・ロスという男だ」

ワトソンがロスの情報をまとめたメモを探索者に共有します。

ウォルター・ロス (31 歳)

- ・ニュージーランド出身 独身
- ・非凡な才能を持つ役者だが、生来の癩癪持ち
- ・3年前に小間使いの少年に暴行を加え、半身不随にさせた過去を持つ
- ・芝居の主演を降ろされ、被害者に恨みを抱いていた

▼捕まえて白状させてはどうか？

「捕まえようとして溺れ死ぬわけにはいかないからね。虎を狩るには、まずそれなりの罟を用意すべきだ」

「直接会って話もしたが、あれは危険な男だ。君たちは近づかない方が良い。君たちに頼みたいのは、あくまでも怪現象の解明だ」

関係者への聞き込みや現場の調査、検屍などは既にホームズとワトソンが済ませています。PL が望むならば判定して構いませんが、ホームズが知り得た以上の情報は手に入りません。

KP は一通りの説明を終えた時点で、ホームズの口からこれからの探索箇所を示してください。

「ロスについては、主役を蹴落とされた直後に、ある結社と接触していること、そして最近、海運会社から古物を仕入れていたことが分かっている」

「彼が接触したのは、結社『見えうるもの』というらしい。場所はシティ・オブ・ロンドンだ」

「また、テムズ港のメイブリック&ドゥーガル商会からあやしげな古物を取り寄せたようだ」

「あとは、怪現象についても、我が国の誇る大英図書館ならば、なにか掴めるかもしれない」

「僕が思いつく糸口はこんなところだ」

※ワトソンと探索者には秘密にしていますが、ホームズは既にロスの自宅に忍び込んで家捜しを終えています。そこで得た情報から、彼の動向を知ったのでした。

▼探索者たちが調査している間、ホームズは何をするのか？

「現在、ロスは姿を消している。おそらく、どこか隠れ家に潜んでいるのだろう。その場所を探るつもりだ」

「怪異という『もつれた糸』をほどこには、僕という人物は不向きだろう。君たちが頼りなんだ」
「もう日が落ちる、今日はここまでにしよう。ワトソン、馬車を呼んで、彼らを送ってくれたまえ」

探索者は馬車で帰宅し、翌朝から探索行が始まります。結社『見えうるもの』、『メイブリック&ドゥーガル商会』、『大英図書館』のそれぞれについて任意に調査できます。ソロプレイなどで探索者が少ない時は、ワトソンを同行させても構いません。

09. 結社『見えうるもの』

シティ・オブ・ロンドンは、商業と金融の中心地だ。銀行や証券取引所、保険会社はもとより、刺繍業組合や皮革加工業組合などのギルドが列をなしている。当世風の「ビジネスマン」である紳士が行き交うこの街に、秘密結社など存在するのだろうか？ そんな疑問を抱きながら歩いていると、道ばたで物乞いが叫んでいるのが聞こえた。

「おお、必要を問うな！いかにいやしい乞食でも、そのとるにたらぬ持ち物の中に、何か余計な物を持っている。自然が必要とする以外の物を禁じてみるがよい、人間の暮しは畜生同然のみじめなものとなろう！」

→〈知識〉〈歴史〉〈芸術〉など

シェイクスピア「リア王」からの引用であることが分かる。

当意即妙の掛け合いをする博識な乞食に通行人は感心し、次々と硬貨を投げ入れています。乞食はずいぶんシティに馴染んでいるようです。

→〈知識〉〈法律〉など

シティを縄張りにした、ヒュー・ブーンという表と裏の事情に長けた乞食がいると聞いたことがある。

探索者が声をかけると、ブーンは次のように答えます。

「『口数の少ないのが最上の人』。何か御用かね」
『物事によいも悪いもない。考え方によって良くも悪くもなる』。具体的に言ってもらわないとわからんよ」

▼結社『見えうるもの』について尋ねる

「教えるためには、行動で示してもらうしか無いですな。『金は借りてもならず、貸してもならない』」
→情報料を渡す、または〈交渉系技能〉

結社『見えうるもの』の場所を教わる
最近、シティの裏社会で名前を聞くようになった怪しげな結社のようなのです。何をしているのか、具体的なことまではブーンは知りません。

「『外面というものは、いちばんひどい偽りであるかもしれない』結局、その場所に行かなければ掴める情報などごくわずかだ」

「『毒を必要とする者も毒を愛すことはしない』ゆめゆめ気をつけることですな」

結社『見えうるもの』の拠点は、ブーンの縄張りからそれほど遠くない場所にあります。

裏通りに入り、老朽化したレンガの建物を地下に降りていく。暗い通路の先には、タコのような印が描かれた扉があった。ヒュー・ブーンの言う通りだとすれば、ここが結社『見えうるもの』の拠点だ。

→〈アイデア〉など

扉の向こうからは、あやしげな匂いが漂ってくる。阿片のようだ

→〈聞き耳〉

扉の奥に人が複数いる気配はあるが、話し声は聞こえない。何やらうなされているようにも感じる

扉を開けると、そこは、麻薬の煙がもうもうと立ちこめる阿片窟だった。身なりが良いはずの紳士たちが、だらしない格好で横たわっている。南洋出身らしき肌の浅黒い男がやって来て、貴方にパイプと阿片を差し出した。

→〈オカルト〉〈歴史〉〈知識〉

古代ギリシャのピタゴラス教団を始め、麻薬によって「真理の追究」を目指した組織は古来より数多くあった。ここもその一つのような。ウォルター・ロスが麻薬によって何かしらの閃きを得たのかもしれない。

→〈法律〉〈信用〉〈知識〉

見渡すと、政財界の重要人物や外国の要人が、ここで麻薬に耽溺しているようだ

「言葉、ダメ。これ、アナタ、見せる。知りたいこと、選ばれば」

南洋の男は、カタコトの英語でそう言い、身振りで空いた寝台を指し示します。

麻薬を吸う場合は、〈医学〉〈薬学〉〈化学〉などによって毒性を和らげることができます。吸わない場合、ここで得られる情報はありませんが、それでもクリアは可能です。複数の探索者でここを訪れた場合、吸う役と吸わない役に分かれてもいい

でしょう。探索者が吸う判断をした場合、KP は下記の描写をしてください。

煙を吸い続けるあなたの意識は、ゆっくりと虚ろになっていく。気がつくと、貴方はいつの間にか、暗い海を沈んでいた。異形の深海生物が、あなたをのそばを悠然と泳ぎ去る。ふと下を見ると、そこに『都市』があることに気付く。その街のあらゆる建物に平行は存在せず、垂直は起こらない。すべてが錯覚じみた都市の奥に、貴方は深藍色に光り輝くものの存在を感じる。感じてしまう。

光？ いや、この光は「神」だ。光こそが神の力なのだ。ああ、この「神」の力を借りさえすれば、不可能は可能になるだろう……あなたの頭に冒流的な知識が入り込んでくる！

麻薬を吸わなかった探索者がそばにいる場合、ここで麻薬を吸っている探索者ががくがくと痙攣し始めたことに気づきます。〈応急手当〉〈医学〉などで介抱する事ができます。

→麻薬を吸った探索者は SAN チェック (1D4/1D10)、神話技能 3% を獲得し、以下の情報を得る。毒性を和らげなかった、あるいは介抱されなかった場合は、さらに POW にダメージ 1D10

【大いなる神との接触により得られた異界の知識】
魔術の込められた器物をアーティファクトと呼ぶ。人の精神を増幅させる、神々の力を行使する、異界と現世を繋ぐといった、人の力だけでは起こせない結果をもたらすことができる。

よろよろと立ち去る探索者を、南洋の男はうつす

らと笑いを浮かべて見送ります。代金は取りません。

※本シナリオ中において、結社『見えうるもの』の拠点
は一度しか行くことができません。2 度目にここを訪れ
ても、もぬけの空です。ちなみに、この結社の名前は 007
シリーズに登場する犯罪組織『スペクター』からとって
います。

10. 『メイブリック&ドゥーガル商会』

ウォルター・ロスが最近取引したという海運会社
は、テムズ川北岸に続くスウォンダム横町にあっ
た。だが、事務所の入り口前に立って、貴方はい
ぶかしむ。裏口も含めて、扉に板が打ち付けられ、
封鎖されていたからだ。窓はカーテンで閉ざされ
中を見ることができない。あたりに人の気配はし
ない。

→〈アイデア〉など

中から腐臭が漂ってくる

→〈医学〉〈応急手当〉〈生物学〉

人の死臭のようだ

→〈鍵開け〉〈機械修理〉〈STR〉〈近接戦闘〉〈射
撃〉など

板を剥がしたり窓を壊して侵入できるようにす
る

『メイブリック&ドゥーガル商会』に足を踏み入
れた途端に、強烈な死臭が貴方を襲う。薄暗い室
内には、無数の羽虫が飛び交っている。薄汚いネ
ズミが数匹走り去っていく。見ると、床には、腐
りかけ、蛆の湧いた、複数の人間の死体が倒れて
いた。いったいどれほどの苦しみを受けたのだろ
うか。その手は喉をかきむしり、その苦悶と絶望
の表情は、見る者の心を凍てつかせるに足るもの

だった。

おぞましい死体を見てしまった

→SAN チェック (1/1D6)

▼死体を調べる

→〈人類学〉など

いずれも、身なりからして商会の事務員や経営
者のようだ

→〈医学〉〈応急処置〉

みな窒息死している。死後、1, 2 週間は経過
しているようだ

▼部屋を調べる

→〈目星〉〈経理〉〈図書館〉〈鑑定〉など

・『メイブリック&ドゥーガル商会』は、主にオ
ーストラリアとの船便を扱っている海運会社だ
った

・ウォルター・ロスはこの会社に、南太平洋の
ポナペという島から荷物を運搬するよう依頼し
ていた

・箱のサイズは縦横高さ 5 インチ (約 12 センチ)

・「神の力を放つ宝石」だから丁重に運ぶように、
という要請があった

※ロス は、代金を支払う代わりに、アーティファクトの
力を試すことで、商会の人間を皆殺しにしたのでした。

11. 大英図書館

世界に冠たる大英図書館といえど、『実在する魔術』
などといった常識外の本が開架書庫に並んでいる
はずも無い。おそらくは禁書区域の閲覧許可を取
る必要があるだろう。

受付では司書ロザリー・レイノルズが勤勉に働い

ています。この時代、司書は教育を受けた女性にとっての数少ない職業の一つでした。美人の彼女に会おうとやってくる輩が跡を絶たないため、ロザリーは余計に忙しくなっています。探索者が閲覧許可を求めると、首をかしげながらロザリーは答えます。

「うーん、それには許可が必要ですね。1, 2週間ほどお待ち頂けないでしょうか」

- 上流階級・中流階級であれば〈交渉系技能〉などで特別に許可が降りる
- そうでない場合は〈隠密〉や〈鍵開け〉で忍び込める

禁書区域に入って〈図書館〉に成功すれば、気になる本を3冊見つけます。ロザリーと友好的に接している場合、頼めば彼女は図書館80%で協力してくれるでしょう。下記の本のうち、どれを読むべきか、PLに選んでもらいます。一つハズレです。

- (1) 崩壊寸前の手綴じ写本『魔術の真理』(英語)
- (2) 18世紀ごろの印刷物『ボナベ教典』(英語)
- (3) 奇妙な装丁の写本『クタート・アクアディンゲン』(ラテン語)

(1) 魔術の真理

〈母国語(英語)〉成功で読める。

→SANチェック(1D3/1D6)

吸血鬼、食屍鬼、悪魔学、魔女崇拜、狼男伝説、生贄の儀式などについて幅広く記述されていたが、目的の情報は載っていなかった。この本を読んだ探索者は〈オカルト〉の経験ロールができる。さらにクトゥルフ神話技能2%を獲得する。

(2) 『ボナベ教典』

〈母国語(英語)〉成功で読める。

→SANチェック(1D3/1D6)

魔術についての情報が分かる(下記に記載)。この本を読んだ探索者は〈人類学〉と〈オカルト〉の経験ロールができる。さらにクトゥルフ神話技能3%を獲得する。

(3) 『クタート・アクアディンゲン』

→読む前に〈アイデア〉

この本が人間の皮膚で装丁されていることに気づいてしまう

→SANチェック(0/1D3)

〈ラテン語〉に成功で読める。

→SANチェック(1d8/2d8)

魔術について情報が分かる(下記に記載)。この本を読んだ探索者は〈人類学〉と〈オカルト〉の経験ロールができる。さらにクトゥルフ神話技能5%を獲得する。

▼魔術について

【大海の渦】

大いなるクトゥルフの力を借りた呪文によって対象の肺を海水で満たし、死をもたらす術者は対象の姿が見えていなければならない、対象は呪文を聞かなければならない

コスト: 8MP、1D10 正気度ポイント

【大海の渦の解呪】

大海の渦を受けた場合、両手で印を結んでその呪文を解除する

コスト: 4MP、1 正気度ポイント

〈INT〉に成功すれば、どちらかの呪文を習得することができます。

12. 情報共有

調査が終わったら、探索者たちにはベーカー街

221B に集まり、今まで得た情報の共有をしてもらいます。もし探索者が怪我をしているようならば、ワトソンが気遣いながら〈応急手当〉96%をしてくれます。

ホームズは「その顔色を見ると、収穫はあったようだね」とパイプを燻らせながら言います。KP はホームズの口から、探索者達の得た情報を聞いて下さい。

「ふむ、ウォルター・ロスがカルトの啓示でそのようなことが実行可能だと知ってしまったのか」

「なるほど、ロスはアルハンブラ劇場でいかにエドワード・ロネンを殺したのか。すべてでは無いにせよ、見えてきたようだ」

「解説は僕たちも覚えたほうがいいな。明日、大英図書館に行くでしょう」

「『宝石』について、まだ謎が残っている。諸君、なにか思いつくことはあるだろうか？」

※探索者が集めた情報には一つ「矛盾」が存在します。もし、ロスが「大海の渦」の呪文を、歌のリハーサル中の舞台上に聞こえるような声で唱えたのなら、「ロネンが倒れるまで、とくにおかしなことはなかった」という劇場関係者の発言がおかしくなってしまいます。

人の力だけでは起こせない結果をもたらすアーティファクトの存在や、「光こそが神の力なのだ」という麻薬の示唆と、「神の力を放つ宝石」という商会の記録とを結び付ければ、他の危険性に気づくことができるかもしれません。しかし、このシナリオをクリアするのに気付く必要はありません。ホームズは意味ありげにつぶやくのみです。

「ふむ。どうやら、"何もおかしなことが無いというおかしなこと"が起きたようだ……」

ここでKP は、〈アイデア〉ロールをさせてもいいですし、ホームズに思わせぶりなことを言わせたままにしても構いません。

「ともあれ、真相に近づきつつある今、より一層慎重に行動すべきだろう。ワトソン、馬車まで彼ら彼女らを見送ってこないか」

探索者全員は初日と同じように、ちょうど近くに止まっていた辻馬車に乗りこみ、ワトソンに見送られて221B を後にします。あたりは既に夜の闇が降りています。

※この辻馬車の御者はロスの変装です。彼はホームズの助手として働く探索者を殺害し、それをもってホームズに捜査を止めるように迫るつもりです。

13. ロスの襲撃

夜のロンドンを馬車でゆられることしばし……ふと、馬車が止まった。瘦せた御者が言う。「すいやせん。手綱が切れちまいやがった。修理するんでちよいと待ってて下せえ」

ここでロスの芸術（演技）70%と、探索者の〈心理学〉で対抗ロールができます。勝てば違和感を覚えます。

次の瞬間、客車の扉が開かれ、腕が突き出される。その手には、ねじれた珊瑚で装飾された水晶が握られ、その水晶は、深い藍色の光を放ち始めた！

※ロスがボナベから取り寄せた宝石は、クトゥルフの力を借りたアーティファクト「クトゥルフの瞳」でした。この水晶が放つ光を直視させることによって、「大海の渦」と同じ効果を発揮します。ロネン殺害時には、演出家たちは前方にいたため、背後から差した光には気付かなか

ったのです。

宝石の危険性にあらかじめ気付いて警戒していたり、心理学で勝っていれば、〈DEX〉〈回避〉〈手さばき〉〈近接戦闘〉などでとっさに目を覆うことができます。それ以外は光を見つめてしまいます。

光を見た探索者は、アーティファクト「クトウルフの瞳」の POW200 と、〈POW〉で対抗ロールです。勝てば呪文にはかかりません。負けた場合は抵抗失敗です。

貴方の肺は海水で満たされる。それは、これまで味わったことの無い激しい苦痛だった。どれだけあえいでも、貴方は息を継ぐことができず、のたうちまわる。

想像を絶する苦痛

→SAN チェック (1/1D6)

「ヒハハハハハッ！ざまあないな、貴様達を皆殺しにして、ホームズへの警告としてやろう」

「『ああ、逆境に遭う人々の、なんと美しいことか！』」

探索者に対する結果がどうであれ、ロスには呪文がかかっていると思込み、石を掲げて大仰な芝居をしています。

以降、戦闘で処理します。

窒息している探索者か、光を見つめないように行動している探索者は、すべての技能判定にペナルティダイスが 1 個付与されます。また、窒息状態の場合、2 ラウンド目以降から、毎ラウンドの開始時ごとに 1D4 ダメージを受けます。

ウォルター・ロス クトウルフに魅入られた役者
STR:55 CON:60 SIZ:70 INT:65 POW:40
DEX:55 APP:70 EDU:40 SAN:0 H P:13
武器：近接戦闘（格闘）40% 1D3+1D4 ダメージ

アーティファクト「クトウルフの瞳」の耐久は 4 です。これを破壊するか、[大海の渦の解呪]を使うか、〈医学〉にハード以上で成功するか、〈CON〉のエクストリーム成功で海水を吐き出せば、探索者はこの苦しみから逃れることができます。

ロスは、探索者が窒息していないと気付いた場合、怒り狂って殴りかかってきます。

クトウルフの瞳を破壊するか、ロスを撃退した場合、戦闘は終了して次のイベントが発生します。（ロスのみを撃退した場合も、彼が倒れた衝撃で「クトウルフの瞳」は割れます）。ロスを倒す前に、クトウルフの瞳を奪うなどして壊さなかった場合にはこのイベントは発生しません。ホームズとワトソンが駆けつけてシナリオ終了です。

割れた邪悪な水晶から、もうもうと青い霧が立ちこめる。そして、霧の先から、それは現れた。それは、人間の胴体ほども太い巨大な触手だった。見るもおぞましく、すべての生きとし生けるものを冒瀆するかのごとく蠢いていた。

深淵から這い出でる触手を見てしまった

→SAN チェック (1/1D10)

触手は、ウォルター・ロスの身体に巻き付き、引きずり込んだ！最後の台詞はおろか、絶叫をあげるいとますら無く、魔道に走った役者は深淵へと消え去った。

青い霧はゆっくりと晴れていく。だが、深淵はさ
らなる犠牲者を求めて、その触手を放った！

触手は探索者一人を襲います（自動命中）。〈回避〉
で避けることができます。

探索者が掴まった場合、ホームズとワトソンがこ
こで駆けつけます。ワトソンが放った弾丸によっ
て触手は痛手を受け、拘束が少し緩みます。本人
または他の探索者が〈STR〉に成功すれば振りほど
くことができます。ちなみにホームズのSTRは85
です。オプションルール「幸運を消費する」を適
用してもいいでしょう。すべての試みが失敗した
場合、掴まった探索者はルルイエに連れ去られて
ロストします。

触手は空を掴むと、そのまま闇の深奥へと消え去
っていった。ガス燈の灯りが照らすそこには、も
はや何も見えなかった。

※探索者がロスとの戦闘に苦戦している場合は、もっと
早く二人を駆けつけさせて、ワトソンが水晶を撃ち抜い
てもいいでしょう。すべて探索者のみで対処できた場合
は、二人は最後に現れます。

決着がついた後、ホームズとワトソンは探索者た
ちを介抱します。

「後生だから大丈夫と言ってくれたまえよ。僕と
したことが、不可思議な魔術に考えを惑わされて、
こうした襲撃の可能性を見落としてしまっていた」

落ち着いた後、ホームズはこの事件を次のように
振り返ります。

「実に恐るべき事件だった。ワトソン、こんな怪
奇はととも僕の伝記には載せられないね」

「他に、君たち（探索者たち）の活躍を讃える機

会があると良いのだが」

こうして本シナリオは幕を閉じます。アルハンブ
ラ劇場やメイブリック&ドゥーガル商会における
殺人は、表向きは変死事件ということで決着しま
す。「当世ファウスト」の演目は中止となるでしよ
う。結社『見えうるもの』は別の場所に拠点を交
えます。邪悪な魔術師を滅ぼした探索者たちは、
ホームズとワトソンから感謝と尊敬、そして金銭
を受け取ります。

14. クリア報酬

- ・アルハンブラ劇場の不可能犯罪を解明した探索
者は、SAN 値を 1D10 回復します。
- ・自力でウォルター・ロスを倒すか、クトウルフ
の瞳の破壊または奪取に成功している場合は、
SAN 値をさらに 1 点回復します。

15. 終わりに

「短時間で遊べるように、ホームズが事前調査し
たことにしよう」「でも、ホームズじゃなく探索者
たちを主人公にするにはどうする？」と考えた結
果このようなシナリオが生まれました。本シナリ
オは、自由に改変や動画作成、配信等をして頂い
て構いません。ホームズ&ワトソンとともにヴィ
クトリア朝ロンドンの冒険を楽しんでいただけれ
ば幸いです。

製作日：2021 年 1 月 16 日

製作者：gisyo